

時間割コード	KB7951	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	金4	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	島 剛				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

暮らしの中の美術

## 授業の概要/Course Overview

この授業は、パネルディスカッションと講義を交えて展開する。最初に「(今日の豊かな)暮らしの中に〈美術〉はあるか」の問いを立て、無自覚に享受しているかもしれない美術に縁ある諸々について、意識的に抽出し、それがどのような経路で私たちの生活と関わっているか道筋を辿り、あるいは遡って考えてみる。最後に、美術的に拓かれた感性の指向性によってどのような美術作品を好みとして見出せるか、美術館を訪ねてみる。

## キーワード/Keyword(s)

美術、美術館、暮らし、豊かさ、作品

## 到達目標/Learning Objectives

暮らしの中にある美術の役割が理解できるとともに、美術的な側面から人の暮らしの豊かさについて考察できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1,シラバスを用いたガイダンスと導入

講義：この授業の進め方 美術に関係する概念や暮らしの中に展開する美術の説明

2,暮らしの中に美術はあるかー問題提起～ディスカッション

講義と演習：教員が提示する複数の課題についてディスカッションする

3,発見した暮らしの中の美術ーパネルディスカッション1

パネルディスカッション：宿題を通して学生から提起された問題について、教員の司会の下、グループの代表がパネラーとなりディスカッションする

4,発見した暮らしの中の美術ーパネルディスカッション2

パネルディスカッション：宿題を通して学生から提起された問題について、教員の司会の下、グループの代表がパネラーとなりディスカッションする

5,美術家の制作活動

講義：美術(彫刻)制作者の立場から、教員が制作活動の実際について講話する

6,7,美術館見学

(アクティブラーニング手法)美術館を訪ねて、お気に入りの作品を発見する(学外授業がある、日時は平常授業の中で知らせる、入館料700円を要する)

8,発見したお気に入り美術作品についてーパネルディスカッション3～まとめ

(パネルディスカッション)教員の司会の下、グループの代表がパネラーとなりディスカッションする。

授業のまとめ 再び、美術と暮らしの関係

授業外の学習:個人発表のための内容検討や、グループで行う発表内容の検討やパワーポイント作りに時間を要する。

## 履修上の注意/Notes

1)ディスカッションは積極的、能動的に参加すること。2)そのためには、自分の考えで進めた調査や発見を膨らませて議論に臨めるようにすること。3)遅刻や欠席をすると授業の展開が理解しがたくなるので、各回とも定時に出席すること。4)オフィスアワー：金曜日3講時、メールアドレスtsuyoshi.shima.prof@vc.ibaraki.ac.jp

## 情報端末の活用

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。
- A : 暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。
- B : 暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。
- C : 暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。
- D : 暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

授業中に行うパネラーとしての発表内容(50%)、及び美術館見学を通して得た知見についての発表内容(50%)を合算する。期末試験は実施しない。

## 教科書/Textbook(s)

備考	特になし
----	------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○
---

## PBL科目

○

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語のみ
-------

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供	受講条件等	
--------	-------	--

時間割コード	KB7952	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	金4	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	音楽文化				
担当教員（ローマ字表記）	山口 哲人				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

音楽文化メッタ切り！音楽バカ談義

## 授業の概要/Course Overview

この授業は、映画・文学・漫画等、現在の芸術文化全体を見渡していかにか音が重要であるか受講生とともに激しくスルドク考えてみようではないか！？という内容です。クラシック・ゲンダイ音楽以外はさして詳しくないヤマグチが皆さんと一緒にジャズ・ロック・ポップス・レゲエからJ-pop、アニソンまで様々な音楽芸術を鑑賞し、褒めたり貶したりたりして楽しく議論しよう！

## キーワード/Keyword(s)

音楽 映画 文学 漫画 芸術 クラシック 現代音楽 ジャズ ロック ポップス レゲエ J-pop アニソン

## 到達目標/Learning Objectives

芸術文化の中から音楽的なモノを見つけ出すことができる！

ディプロマポリシー：①世界の俯瞰的理解③課題解決能力・コミュニケーション力④社会人としての姿勢

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第一回：「シラバスどおりにはたぶん絶対進行しないぞ！！」シラバスを用いたガイダンスと意見交換&題材収集

この授業は、受講生諸君から興味のある芸術文化メディアを訊き、鑑賞教材を決めそこから音楽的要素を抽出して批評してゆこう！という実験的なモノになる予定であるので、お集まり頂いた方の趣味傾向により毎回取り上げるお題はガラッと変わってくると思われる（以下にあげたお題はあくまでヤマグチが考えた仮のもの）。

第二回：「雑派大魔神イバダイに降臨！迎え撃つゲンダイオンガクの巨人ジョン&ピエール」

フランク・ザッパVsジョン・ケージ&ピエール・ブーレーズ」ロック、ポピュラー音楽、現代音楽、ミュージック・コンクレート、ジャズ、電子音楽、R&B、ドゥーワップ、ブルース、サイケ、ハード、プログレッシヴ、ブルース、フリー・ジャズ、パンク、ニュー・ウェイヴ、レゲエ、オペラ、ディスコ変幻自在のザッパとゲンダイオンガクの二人の巨匠の聴き比べ！

第三回：熟読！！漫画から音楽は感じられるか！？・・・授業中に漫画を読めるなんて・・・まるで漫画喫茶だ！！

さそうあきら①「ミュジコフィリア1～5」②「マエストロ1～3」③「おくりびと」山本おさむ④「hey!!ブルースマン1～3」⑤「天上の弦1～10」山下和美⑥「コンチェルト」⑦「ノクターン」新川直司⑧「四月は君の嘘1～11」小玉ユキ⑨「坂道のアポロン1～9」⑩一色まこと「ピアノの森1～26」⑪戸田誠二「音楽と漫画と人」⑫手塚治虫「手塚治虫マンガ音楽館」⑬「ルードウィヒ・B1・2」⑭二ノ宮知子「のだめカンタービレ1～25」⑮いくえみ綾「G線上のあなたと私1～4」⑯勝田文「あのごにもらった音楽」⑰河原和音「青空エール1～19」⑱鎌谷悠希「少年ノート1～8」⑲石塚真一「BLUE GIANT 1～10・BLUE GIANT SUPREME 1～9」⑳福山庸治「マドモアゼルモーツァルト」21みうらじゅん「アイデン&ティティ24歳/27歳」22羅川真里茂「ましろのおと1～24」23アミュー「この音とまれ！1～21」24八口ルード作石「BECK1～34」25浅野いにお「ソラニン1&2」26榎屋克優「日々ロック1～6」ほか

第四回：爆裂音楽！・最大音量でシビレルぜ！ミミセンのご用意を！他の教室からクレームが来ても知らない・・・

「木山光」「O・メシアン」「M-A・タネジ」「チャイコフスキー"序曲1812年"」「ニールセン『より近く、神のみもとに』によるパラフレーズ」「レイフス"ヘクラ火山"」

“世界一うるさいバンドギネス記録”「マノウォー」ほか。

第五回：今回はシンミリやりますよ・・・文学から音楽は感じられないか上品に考える・・・

a)O・S・カード「無伴奏ソナタ」b)P・A・マキリップ「バジリスクの魔法の歌」c)なかにし礼「長崎ぶらぶら節」d)中田 永一「くちびるに歌を」e)中沢けい「楽隊のうさぎ」f)津原泰水「ブラバン」g)藤谷治「船に乗れ！1～3」h)「世界でいちばん美しい」i)荒木源「オケ老人!」j)風野潮「モデラートでいこう」k)風野潮「ビート・キッズ—Beat Kids」l)天野純希，大島真寿美，風野潮，川島誠，小路幸也，丁田政二郎「ぼくの歌が君に届きますように」m)今野敏「怪物が街にやってくる」n)西村すぐり「ぼくがバイオリンを弾く理由」o)恩田陸「遠雷と蜂蜜」他

第六回：キミはガンダムオタクか？！

機動戦士ガンダムシリーズのBGMを一気に鑑賞、ヘトヘトへになりながら西暦1979年から宇宙世紀までの音楽の変遷をみんなで激しく考察！！

第七回：ビッグバンドの魅力！

アニメ「ルパン三世」や「カウボーイ・ビバップ」のライブ映像、映画「スウィング・ガールズ」「セッション」を観ながら熱く討論！

第八回：対決X（エックス）ジャンプ対x（ダム）ジャンプ！！ボヨヨンロック&ニューウェイブテクノだよーん！

エックスジャンプのエックスジャンプと、筋肉少女帯のダメジャンプを徹底比較研究！その後「筋肉少女帯」「大槻ケンヂ」「三柴理」「電気グルーヴ」を聴く！ついでにアニメ「さよなら絶望先生」「戦闘妖精雪風」「うしおととら」等を観ながら「踊るダメ人間」と「モノノケダンス」を踊り最終回を飾る！

アクティブ・ラーニング要素

- ・ソクラテス式問答
- ・ディベート
- ・ブレインストーミング
- ・EQトーク
- ・発言カード
- ・ミニッツペーパー
- ・質問書法
- ・クリエイティブ・セッション
- ・映像活用学習

【授業外学修】

一日24時間（生きている間はずっと音楽が聴け、学べます。完全無音の空間があったとしても、心臓の鼓動が音楽となり得ます）。

ただし、こちらから次回授業までに何かを聴け、等という指令は一切出しません。

高等学校までに何か学修していないとこの授業を受けられぬ、というアホらしい制限も無し。

## 履修上の注意/Notes

毎回の授業では音楽を聴いた後、感想・意見を言ってもらったり、踊ってもらったり、自分が音楽だなぁと感じることを発表してもらったりする予定です。結構アクティブにやりますよ！授業中寝るなヨ！！そんなに高度な音楽知識を要求することはありません。遅刻は、まあ許しますが、あんまり遅すぎると欠席とします。相談質問はオフィスアワーまたは授業の前後に。

## 情報端末の活用

レポート提出や学生発表はパソコン作成のデータ提出でも構いませんが、学生発表時は教室設置の機器の具合により（ボロい機械だから）、接続が上手くゆかない場合もあります。授業の発表前に受講教室で機械の具合を確認して下さい。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : オンガクの基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
A : musicの基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
B : Musikの基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
C : музыкаの基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。  
D : ■■■■■の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

○補足

- ・到達目標と関連づけて、成績評価に当たっての客観性・厳格性を確保し、評価に関する観点を明記し、「総合的に評価」のような曖昧な表現は避ける。
- ・履修学生は、自身の成績評価に疑義のある場合は異議申し立てができるので、評価レベルに応じた理解度や習得度を、あらかじめ具体的に説明し、客観性を担保していることが望ましい。

## 成績の評価方法/Grading

試験はしない。毎回終了時のアンケート&小レポート(50%)と、時々行われる音楽発表(50%)等で成績をつけます。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	△
専門分野の学力	△
課題解決能力	△
コミュニケーション力	△
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

## アクティブ・ラーニング型科目

音楽を聴く・演奏することはいつだってアクティブだと思います。

○

## PBL科目

○

## 地域志向科目

## 使用言語

日本語のみ。担当教員がたまにカッコをつけて音楽用語を外国語で言ったりする程度（外国の映画をよく鑑賞したりはする＝字幕はある）

## 実務経験のある教員による授業科目

--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7953	ナンバリング	KB-PAA-131-COE	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	ダンス・演劇文化				
担当教員（ローマ字表記）	田中 宏明, 門脇 早穂子				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

水戸芸術館で学ぶ、音楽、演劇、美術

## 授業の概要/Course Overview

水戸芸術館の運営全体について、活動内容やその特徴を解説する。さらに世界各国の芸術文化を簡単に紹介し、それらと連動した水戸芸術館の活動を鑑賞を通じて具体的に体験する。主に水戸芸術館の各部門の学芸員が講師として授業を行う。

## キーワード/Keyword(s)

水戸芸術館、音楽、演劇、美術、自主企画、専属楽団&劇団

## 到達目標/Learning Objectives

1990年に開館した水戸芸術館は、今や日本を代表する文化施設の一つとなっている。芸術館独自の活動内容を知り、併せて、現在の世界的な芸術文化の状況を理解する。そして、鑑賞を通じて各々が芸術文化全体についての見聞を広め、芸術に関して自分の意見が持てることを目指す。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：ガイダンスと導入：水戸芸術館に関する説明（田中・門脇）

第2回：水戸芸術館の運営と特徴

水戸芸術館副参事による講義。日本の文化施設で唯一、水戸芸術館だけが取り入れているシステムを学び、理解する。

第3回：学外授業（水戸芸術館見学と展覧会の解説・鑑賞）

水戸芸術館美術学芸員による講義。本授業のために、普段一般に公開されていない施設も特別に見学する。

第4回：水戸芸術館音楽部門の活動

（映像活用学習）

水戸芸術館音楽学芸員による講義。芸術館で開かれる音楽会がどのようにして企画されているか、どのように運営されているかなどを学ぶ。

また主に映像資料を見ながら現代音楽、芸術音楽などについての講義を受ける。

第5回：水戸芸術館演劇部門の活動

水戸芸術館演劇学芸員による講義。芸術館で上演される演劇作品について学び、演劇鑑賞についての視点を養う。

第6回：学外授業（演奏会）（田中・門脇）

第7回：学外授業（演劇）（田中・門脇）

第8回：音楽関連（主にピアノ）の講義。まとめ。（田中・門脇）

（ロールプレイ）

授業担当教員による講義。これまでの学外授業で鑑賞した内容について振り返る。演奏会と演劇において、演奏者と演者からの視点、鑑賞者からの視点がどのように共通し、異なるかを考察する。

第3・6・7回では、鑑賞のポイントを踏まえたうえで実際に美術館、音楽ホール、劇場に出向き、積極的な鑑賞活動をする。日程は「水戸芸術館ホームページ」に掲載されている開催公演の中から、12月初旬から2月初旬に開催される演奏会（複数の公演の中から選択）、演劇公演



(複数日程から選択)、美術展(芸術館見学日あるいは展覧期間中の他の日)を初回授業日までに案内する。

各分野の講師や演目(学外授業)の都合上、授業計画の順と異なる場合もあるが、その際はガイダンス時に知らせる。

#### 【授業外学修】

音楽、演劇、美術の各分野ごとの学外授業(水戸芸術館での鑑賞)に向けて、チラシから得た

情報を超えた知識や鑑賞のポイントをあらかじめ各自で押さえておく。鑑賞後は、その内容を自分の言葉で第三者に伝えられるようにまとめておく。

## 履修上の注意/Notes

教科書・参考書の購入は特になし。

水戸芸術館での見学を兼ねた、音楽、演劇、美術の各分野ごとの学外授業が、開講日時以外にある。日程は初回授業日までに案内する。出席は必須。

なお学外授業時に各部門の鑑賞チケット代金が必要となる。金額は、受講生は一般料金よりも割安な、ユース(25歳以下)チケットが適用となるため、代金の総額は4500円から5500円程度となる。

## 情報端末の活用

特になし。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

音楽、演劇、美術の各部門ごとに、レポート課題(A4用紙で各1枚程度)を出題。これらの各レポートの結果(100%)により成績をつける。作品の制作者、演者が何を伝えようとしているかを感じ取り、受け取ったことをどのように文章で表現しているかを見る。ただし3分の2以上の出席がないと評価の対象とならない。出欠は毎回、カードでとる。

期末試験は実施しない。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：特になし。その都度プリントを配布する。
----	-------------------------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎

実践的英語力	
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	◎

## アクティブ・ラーニング型科目

○
---

## PBL科目

--

## 地域志向科目

○
---

## 使用言語

日本語のみ
-------

## 実務経験のある教員による授業科目

・水戸芸術館副参事、学芸員など、芸術館運営に携わっている者が、オムニバス形式により、具体的な芸術館の運営や芸術文化について講義する。
--

## 実践的教育から構成される授業科目

・芸術館運営者による講義や芸術館の見学を通じた実習により、芸術館運営及び芸術文化理解に関する実践的教育を行う。
---

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7954	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	片口 直樹				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

美術文化 絵画入門

## 授業の概要/Course Overview

絵画の基礎的知識や表現方法を学ぶとともに、その多様性について歴史的背景と共に理解する。また、体験的な制作に取り組み、絵画に関する興味を拓く。第2・3回は講義を通してその歴史や多様性に触れ、第4回～第7回は制作を通して素材と表現について考察する。実技では合評会を実施し、考察の共有と個人の理解の深化を図る。最後に、美術館における絵画作品鑑賞により、絵画の知見について総括的にレポートにまとめる。

## キーワード/Keyword(s)

絵画、絵画史、表現方法、作品鑑賞、クロッキー、美術館

## 到達目標/Learning Objectives

- ・ 絵画鑑賞を通して作品に対する自身の見解をもつことができ、同時に他者の意見を受け入れることができる。
- ・ 絵画実技を通して体験的に表現方法に触れることで、様々な絵画技法についての興味を拓くことができる。
- ・ 絵画の歴史的背景や多様性について考察することで、絵画の現代的課題についての初歩的理解が得られる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンスとワークショップ  
（ワークショップ）絵画に関する受講者の知見を共有する。
- 第2回：絵画の歴史と多様性 講義  
（映像活用学習）提示された視点からメモを取りながら映像を見る。
- 第3回：絵画表現と素材について〔コンテパステルの特性を体験的に学ぶ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第4回：人物クロッキー〔10分×5ポーズ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第5回：人物クロッキー〔8分×6ポーズ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第6回：絵の具遊び〔モダンテクニックにより色彩を学ぶ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第7回：作品制作〔コラージュにより絵画作品を完成させる〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第8回：美術展鑑賞 鑑賞  
（授業後レポート）水戸市内の美術館等で絵画作品を鑑賞し、レポートを作成する。

【授業外学修】

(1) 「絵画」についての様々な素材・歴史・作品等を記載した文献等を読んでおく和良好的。その際には、自身に馴染みのある絵画を出発点として、少しずつ興味の対象を広げていくと良い。

(2) 実際に美術館等で絵画作品を鑑賞し、興味・関心を拓いておく事が望まれる。

(3) 実技では授業時間外での取り組みも重視されるため、自身や他の受講生の制作活動を振り返りながら自主制作を行うとよい。

## 履修上の注意/Notes

実技の際には、汚れても良い服装（作業着等）で参加すること。画材費、美術展鑑賞費、交通費は自己負担とする（2,000円程度）。遅刻は開始30分まで認めるが、遅刻3回で1回の欠席分とする。オフィスアワー（月曜1講時／教育学部C棟109室）。実習室の都合上、定員は20名程度まで。

## 情報端末の活用

・授業内で使用する場合はその都度指示するが、授業外においては授業内で紹介した絵画作品等について、あらためて調べておく和良好的。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

8回目の期末試験は実施せず、課題作品及びレポートの提出によってその完成度・理解度を評価の対象（8割）とする。また、課題に取り組むプロセスを重視し、制作態度も評価の対象（2割）として加味する。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書；特になし
----	----------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	絵画の教科書
著者名	谷川渥 監修
出版社	日本文教出版
出版年	2001
ISBN	4783010064
教材費	3500

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○

コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

### アクティブ・ラーニング型科目

### PBL科目

### 地域志向科目

### 使用言語

### 実務経験のある教員による授業科目

### 実践的教育から構成される授業科目

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	受講条件等

時間割コード	KB7955	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	齋木 久美				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

仮名の書に親しむ

## 授業の概要/Course Overview

一般に「仮名の書」とは、平安時代の仮名の書の伝統に立脚したものをさします。本授業では、仮名に関する基礎基本を学び、仮名の書の鑑賞や実技練習を行います。また和歌を題材にした作品制作やその鑑賞活動により、仮名の書の美しさや表現方法について知識を深めるようにします。

## キーワード/Keyword(s)

平仮名 変体仮名 草仮名 単体 連綿 行書き 散らし書き 料紙 古筆

## 到達目標/Learning Objectives

基礎な学習を通して、仮名の書の基本的な書き方や鑑賞方法を習得することができる。  
基本的な散らし書きの書き方を理解し作品制作ができる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：シラバスを用いたガイダンスと講義  
（ミニツツペーパー）仮名の成立や変体仮名、連綿などに関する知識を習得し、理解を深める。  
第2回：仮名の線と筆使い、基本の運筆練習  
（ミニツツペーパー）仮名の線の特徴を理解する。  
第3回：基本の運筆練習をふまえて「いろは」を書く、変体仮名の練習  
（ミニツツペーパー）仮名の字形や筆使いの特徴を理解する。  
第4回：和歌を書く  
（ミニツツペーパー）変体仮名や連綿の効果について理解する。  
第5回：行書きと散らし書きについて  
（ミニツツペーパー）散らし書きの効果や全体の鑑賞をもとに意見交換を行う。  
第6回：料紙について 散らし書きで和歌を書く  
（ミニツツペーパー）散らし書きした作品の批評をもとに、意見交換を行う。  
第7回：散らし書き作品の制作と鑑賞  
（グループディスカッション）作品を鑑賞し、意見交換を行う。  
第8回：まとめ 仮名の書の鑑賞方法や表現について再考する

### 【授業外学修】

- (1)授業で取り上げる変体仮名については字母や読みを確認すること。
- (2)仮名の代表的な名筆について調べ、理解を深めるようにすること。
- (3)硬筆を使用して、字形や連綿の方法などの復習を行うようにすること。

## 履修上の注意/Notes

(1)適宜、相互批評などを行ない、鑑賞活動も行います。(2)遅刻厳禁。(3)オフィスアワー：木曜日4時間目  
(kumi.saiki.9331@vc.ibaraki.ac.jp) (4)用具用材の費用(1000円程度)がかかります。

## 情報端末の活用

作品は、その画像を教務情報ポータルシステムを通じて提出すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：仮名の書に関する基本的な知識を十分に習得し、仮名の筆使いが表現できている。  
A：仮名の書に関する基本的な知識を習得し、仮名の筆使いが表現できている。  
B：仮名の書に関する基本的な知識をおおむね習得し、仮名の筆使いがおおむね表現できている。  
C：仮名の書に関する基本的な知識を最低限習得し、仮名の筆使いがおおむね表現できている。  
D：仮名の書に関する基本的な知識を習得できておらず、仮名の筆使いが表現できていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験は行いません。毎回の振り返りシート(60%) いろは、散らし書きの作品(25%) レポート(15%)

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	梅雪かな帖
著者名	安東聖空
出版社	松林堂
出版年	1970
ISBN	
教材費	

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	書道テキスト
著者名	大東文化大学書道研究所 編
出版社	二玄社
出版年	2007
ISBN	978-4544141092
教材費	2000

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
----------	--

専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

### アクティブ・ラーニング型科目

### PBL科目

### 地域志向科目

### 使用言語

### 実務経験のある教員による授業科目

### 実践的教育から構成される授業科目

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	受講条件等



時間割コード	KB7956	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	音楽文化				
担当教員（ローマ字表記）	山口 哲人				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

新しい音楽を探す！

## 授業の概要/Course Overview

音楽の勉強は、厳しい修行を積み技術を修得した上で、作品を書き、演奏しなければなりません。それと同時に様々な音を聴き、何が優れた音楽になるのか判断してゆくことが大事です。この授業は、楽譜を書いたことが無く、演奏も苦手である、といった学生諸君にも音楽を体感し、表現できることを目的とします。来たれ！若き芸術家よ！！

## キーワード/Keyword(s)

新しい音 探す 聴く 表す 創る 楽しい 笑いあり 涙あり

## 到達目標/Learning Objectives

音を聴いて、理解する（あるいは理解しようとして意味を探る）。それを自己の表現として使用出来る技術を身につける。

ディプロマポリシー：①世界の俯瞰的理解③課題解決能力・コミュニケーション力④社会人としての姿勢

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- ①シラバスを用いた授業ガイダンスの実施。ゲンダイオンガクとは何か！？を説明。色々な音を積極的に聴き、さらに関心を持った方面を探求してもらうため、授業の道筋となるアンケートを行う。その後、ピングで音楽を創るとどうなるのか実験！（ステキな景品あり！？）
- ②「日常の音を聴く！！」キッチンタイマーや携帯電話を用いた音楽の創作。ホップズの「ヴォイスピース」を現代に翻訳して演奏したら、どうなるのであろうか！？授業中なのにもかかわらず携帯をイジりながら音楽を創る！！
- ③「S・ライヒとT・ライリーの音楽」ミニマル音楽の神様、ライヒの音楽を聴いたり演奏！また、ライリーのinC実演で全員陶然！！録音・録画して聴き返してみる。
- ④「恒例！秋の大カルタ大会 取るぞ動物！盗るぞ国！県！！」カルタの読み札を、もし言葉でなく音で表現したら、みんな取り札は盗ることができるのか！？爆笑実験開始！
- ⑤「映画の中の音楽Ⅰ」ファンタスティックな音楽とは？神秘的な音色・メロディとは？聴くと不思議な感じになる音楽・音とは何かを考える！
- ⑥「映画の中の音楽Ⅱ」実験的・個性的な短編映画に凝縮された音楽を発見する！ディズニーも観よう！！
- ⑦「映画の中の音楽Ⅲ」音楽とは誰のためのモノか！？誰でも音楽を演奏して楽しむ権利はあるの？音楽療法現場での音楽ってどんなもの？

⑧「勝手にBGM！名作映画の付随音楽を深く考察！」有名映画のワンシーンにどんな音楽が付けられているか考える。その後、エライ作曲家になったつもりで勝手に自分でBGMを変更しちゃったらどうなるのか？実験！

#### アクティブ・ラーニング要素

- ・ソクラテス式問答
- ・ディベート
- ・ブレインストーミング
- ・EQトーク
- ・発言カード
- ・ミニッツペーパー
- ・質問書法
- ・クリエイティブ・セッション
- ・クイズ形式授業
- ・虫食い問題
- ・映像活用学習
- ・PBL

#### 【授業外学修】

一日24時間（生きている間はずっと音楽が聴け、学べます。完全無音の空間があったとしても、心臓の鼓動が音楽となり得ます）。ただし、こちらから次回授業までに何かを聴け、等という指令は一切出しません。高等学校までに何か学修していないとこの授業を受けられぬ、というアホらしい制限も無し。

## 履修上の注意/Notes

数回に一度創作発表してもらう。音を使った自己表現を多く行いますので、講義をきくだけの授業ではないことをご確認の上受講して下さい。かといって、そんなに高度な技術を要求することはありませんのでご安心を。要するに、やる気さえあれば受講可。遅刻は、まあ許しますが、あんまり遅すぎると欠席とします。相談質問はオフィスアワーまたは授業の前後に。教材、実験機器等の学生負担はありません。

## 情報端末の活用

レポート提出や学生発表はパソコン作成のデータ提出でも構いませんが、学生発表時は教室設置の機器の具合により（ボロい機械だから）、接続が上手くゆかない場合もあります。授業の発表前に受講教室で機械の具合を確認して下さい。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：オングクの基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
A：musicの基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
B：Musikの基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
C：музыкаの基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。  
D：■■■■■の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

試験はしない。毎回終了時のアンケート&小レポート(50%)と、時々行われる音楽発表(50%)等で成績をつけます。

## 教科書/Textbook(s)

備考	アナタの周りに存在する全ての音が教科書となり得ます。その中から「聴くことができた音」が音楽となります。
----	---

## 参考書/Reference Book(s)

### 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	△
専門分野の学力	△
課題解決能力	△
コミュニケーション力	△
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

### アクティブ・ラーニング型科目

音楽を聴く・演奏することはいつだってアクティブだと思います。

○

### PBL科目

○

### 地域志向科目

### 使用言語

ニホンゴノミデスヨ。担当教員がたまにカッコをつけて音楽用語を外国語で言ったりする程度（外国の映画をよく鑑賞したりはする=字幕はある）

### 実務経験のある教員による授業科目

### 実践的教育から構成される授業科目

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7957	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	音楽文化				
担当教員（ローマ字表記）	神部 智				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

ムーミン、オーロラ、シベリウスーフィンランドの音楽を訪ねてー

## 授業の概要/Course Overview

北欧フィンランドの自然、歴史、社会に光を当てながら、同国の風土、文化が生み出した不思議な芸術音楽を解説する。特にシベリウスの代表的な作品に注目し、その圧倒的魅力に迫りたい。CDやDVDなど、映像資料も豊富に活用して、フィンランドの文化的エッセンスを様々なアングルから紐解きたいと思う。

## キーワード/Keyword(s)

フィンランド、シベリウス、クラシック音楽、カレワラ、交響曲、交響詩

## 到達目標/Learning Objectives

- (1) 独特な歴史的背景を有するフィンランドという国について理解できる。
- (2) シベリウスの作品を鑑賞し、その世界観を理解できる。
- (3) 芸術音楽が、それを生み出した国の文化や歴史と深いつながりをもっていることが分かる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンス フィンランドという国について
- 第2回：フィンランドの民族叙事詩『カレワラ』と音楽  
鑑賞曲：シベリウスの合唱曲、交響詩《クレルヴォ》、《トゥオネラの白鳥》ほか。
- 第3回：社会の右傾化（ナショナリズム）と音楽？  
鑑賞曲：シベリウスの交響詩《フィンランディア》、交響曲第1番ほか。
- 第4回：社会の右傾化（ナショナリズム）と音楽？  
鑑賞曲：シベリウスの交響曲第2番、ヴァイオリン協奏曲ほか。
- 第5回：ナショナリズムの動向を超えて  
鑑賞曲：シベリウスの交響曲第3番、第4番、弦楽四重奏曲《親愛なる声》ほか。
- 第6回：雄大なるフィンランドの大自然、その息吹からインスピレーションを得て  
鑑賞曲：シベリウスの交響曲第5番、交響詩《オセアニダス》ほか。
- 第7回：フィンランドの幽玄なる世界  
鑑賞曲：シベリウスの交響曲第6番、第7番ほか。
- 第8回：芸術を通して時代を超越する まとめ  
鑑賞曲：シベリウスの交響詩《タピオラ》ほか。

### 【授業外学修】

- (1) 各回で取り上げるシベリウス作品について、事前に耳にしておくことが望ましい。
- (2) 演奏によって音楽表現が大きく変わるので、複数の音源にあたることを勧める。

### 【アクティブ・ラーニング】

作品や演奏から発せられるメッセージを感知する力だけでなく、音楽から感じ取ったものを自らの言葉で表現できることを目指し、毎回の授業で可能な限りソクラテス式問答を取り入れる。

## 履修上の注意/Notes

2回の遅刻を1回の欠席とみなす。オフィスアワー：木曜日2講時

## 情報端末の活用

授業の第8回目でアンケートを実施する予定のため、PC、スマートフォン等を持参すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。
- A：到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。
- B：到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。
- C：到達目標の3点について最低限のレベル以上において達成されている。
- D：到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない。

## 成績の評価方法/Grading

レポートによる（100%）。到達目標に記した観点を踏まえ、レポートの記述内容から評価を行う。期末試験は実施しない。

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	シベリウス
著者名	神部 智 著
出版社	音楽之友社
出版年	2017
ISBN	9784276221963
教材費	2300

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	

地域活性化志向	
---------	--

### アクティブ・ラーニング型科目

○
---

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語
-----

### 実務経験のある教員による授業科目

--

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7958	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	島 剛				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

暮らしの中の美術

## 授業の概要/Course Overview

この授業は、パネルディスカッションと講義を交えて展開する。最初に「(今日の豊かな)暮らしの中に〈美術〉はあるか」の問いを立て、無自覚に享受しているかもしれない美術に縁ある諸々について、意識的に抽出し、それがどのような経路で私たちの生活と関わっているか道筋を辿り、あるいは遡って考えてみる。最後に、美術的に拓かれた感性の指向性によってどのような美術作品を好みとして見出せるか、美術館を訪ねてみる。

## キーワード/Keyword(s)

美術、美術館、暮らし、豊かさ、作品

## 到達目標/Learning Objectives

暮らしの中にある美術の役割が理解できるとともに、美術的な側面から人の暮らしの豊かさについて考察できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1,シラバスを用いたガイダンスと導入

講義：この授業の進め方 美術に関係する概念や暮らしの中に展開する美術の説明

2,暮らしの中に美術はあるかー問題提起～ディスカッション

講義と演習：教員が提示する複数の課題についてディスカッションする

3,発見した暮らしの中の美術ーパネルディスカッション1

パネルディスカッション：宿題を通して学生から提起された問題について、教員の司会の下、グループの代表がパネラーとなりディスカッションする

4,発見した暮らしの中の美術ーパネルディスカッション2

パネルディスカッション：宿題を通して学生から提起された問題について、教員の司会の下、グループの代表がパネラーとなりディスカッションする

5,美術家の制作活動

講義：美術(彫刻)制作者の立場から、教員が制作活動の実際について講話する

6,7,美術館見学

(アクティブラーニング手法)美術館を訪ねて、お気に入りの作品を発見する(学外授業がある、日時は平常授業の中で知らせる、入館料700円を要する)

8,発見したお気に入り美術作品についてーパネルディスカッション3～まとめ

(パネルディスカッション)教員の司会の下、グループの代表がパネラーとなりディスカッションする。

授業のまとめ 再び、美術と暮らしの関係

授業外の学習:個人発表のための内容検討や、グループで行う発表内容の検討やパワーポイント作りに時間を要する。

## 履修上の注意/Notes

1)ディスカッションは積極的、能動的に参加すること。2)そのためには、自分の考えで進めた調査や発見を膨らませて議論に臨めるようにすること。3)遅刻や欠席をすると授業の展開が理解しがたくなるので、各回とも定時に出席すること。4)オフィスアワー：金曜日3講時、メールアドレスtsuyoshi.shima.prof@vc.ibaraki.ac.jp

## 情報端末の活用

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
A：暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
B：暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
C：暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。  
D：暮らしの中にある美術の役割について基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

授業中に行うパネラーとしての発表内容(50%)、及び美術館見学を通して得た知見についての発表内容(50%)を合算する。期末試験は実施しない。

## 教科書/Textbook(s)

備考	特になし
----	------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○
---

## PBL科目



○

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語のみ
-------

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供	受講条件等	
--------	-------	--

時間割コード	KB7959	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	島田 裕之				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

世界のアニメーション文化

## 授業の概要/Course Overview

絵を動かすというアニメーションの映像表現は、映画が開発された当初から様々な試みがなされてきた。それらは、国や文化により多岐に分岐し現在に至っている。その様々なアニメーションを鑑賞することを通して各国の文化観や映像文化観を理解し、アニメーション文化の概要とアニメーションの多様な価値観を、ライティング・ディスカッションやブレインストーミング等により学生同士が相互理解する。

## キーワード/Keyword(s)

アニメーション、文化理解、映像表現、作品解釈、作品分析、見解の交換

## 到達目標/Learning Objectives

アニメーション作品を通して各国の文化観や映像文化観を理解することができる  
 アニメーション文化の概要を理解し、アニメーションの多様な価値観を理解することができる  
 映像作品に対しての自分の見解を持つこと、また他者の見解を受けとめることができる

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回【授業内容】シラバスを用いたガイダンス 国による映像文化認識の違い（授業内容）  
 （映像活用授業・アクティブラーニング手法）グループで複数の映像を鑑賞しその表現の違いについて協議、発表する  
 【授業外学修】これまでに観たアニメーション作品について作品名、年代、内容などを確認しておく

第2回【授業内容】日本のアート・アニメーション（授業内容）  
 （映像活用授業）アニメーションの領域と概念・商業アニメーションとアートアニメーションについて・近年の日本アート・アニメーション  
 【授業外学修】第1回目の授業内容をもとに現在視聴できる日本のアニメーションの種類、特徴、形態を検証しておく。その内容を踏まえて第2回授業では更に深く日本のアニメーションについて検証する

第3回【授業内容】アメリカのアニメーション  
 （映像活用授業）アニメーション史の中でアメリカの代表的なアート系アニメーションについて  
 【授業外学修】ディズニーやハリウッド製作のアニメーション映画と授業で紹介するアニメーション作品の差異について考察しておく

第4回【授業内容】フランスのアニメーション  
 （映像活用授業）アニメーション史の中でフランスの代表的なアニメーション作家ポール・グリモー、ルネ・ラルー、シルヴァン・ショメ等の作品について  
 【授業外学修】事前の授業で紹介されたアヌシー国際アニメーション映画祭について事前に調査しておく（映画祭の特徴、映画祭の歴史等）

第5回【授業内容】カナダのアニメーション  
 （映像活用授業）カナダのアニメーション制作所カナダ国立映画制作庁（NFB）を代表する作家ノーマン・マクラレン、キャロライン・リーフ、コ・ホードマン等の作品について  
 【授業外学修】カナダのアニメーション制作所カナダ国立映画制作庁（NFB）とオタワ国際アニメーション映画祭について事前に調

査しておく。授業後は、広島、アヌシー、オタワの映画祭の特徴と差異について考察する。考察内容は次時の授業でザグレブ国際アニメーション映画祭の紹介の際総合的に考察する

#### 第6回【授業内容】クロアチアとチェコのアニメーション

(映像活用授業) アニメーション史の中でクロアチアのザグレブ・フィルムとザグレブ国際アニメーション映画祭に関わる作品とチェコの代表的なアニメーション作家イジイ・トルンカの作品について

【授業外学修】中央ヨーロッパにおけるクロアチア(旧ユーゴスロビア)とチェコ(旧チェコスロバキア)の近代史(20世紀)を概観しておく。両国の歴史とアニメーション表現との関係を授業内で検証する

#### 第7回【授業内容】ロシアのアニメーション

(映像活用授業) アニメーション史の中でロシアの代表的なアニメーション作家ロマン・カチャーノフ、エドゥアールド・ナザーロフ、ユーリ・ノルシュテイン等の作品について

【授業外学修】ロシア(旧ソビエト連邦)の近代史(第2次世界大戦後)を概観しておく。社会主義国家体制とアニメーション表現との関係を授業内で検証する

#### 第8回【授業内容】長編作品の鑑賞(個人活動)

(映像活用授業) 第1～7回の活動を踏まえ、作品1本を鑑賞する。

【授業外学修】授業後、これまでの学修内容を踏まえ、個人で作品分析、批評をおこない、レポートをまとめる

【アクティブ・ラーニング】上記(2)～(7)の授業においては、複数人グループのアクティブラーニング手法により作品の見方、感想の交換を随時おこなう

【授業外学修】授業で取り上げるアニメーション作品は、テレビやレンタルDVDなどで鑑賞することが難しい。

一方でYouTubeなどの映像配信システムの中で紹介されている場合もあるので、多くの作品、多種に渡る作品を各自で鑑賞しておくことが重要である。同時に自分独自の鑑賞視点を持てるよう、アニメーションにとどまらず映像作品がどのように分析、解釈されているかについて映画批評等を読むことを予習復習として取り組むことが望ましい。

## 履修上の注意/Notes

取り上げるアニメーション作品は、現在日本で普及している商業アニメーションとは異なる作品を対象とする。いわゆるディズニーや日本のテレビアニメーションのようなエンターテインメント作品を対象としないので注意すること。

映像作品に対して積極的、能動的に理解する姿勢を持てること。自分の見解を発表できるとともに他者の見解を受けとめる姿勢を持てること。遅刻をするとその時間の作品鑑賞に影響がでるため定時に出席すること。

人数制限(24名)がある。

オフィスアワー: 木曜日2時間目 メールアドレス: hiro1957@vc.ibaraki.ac.jp

## 情報端末の活用

特に活用しない

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+: アニメーション作品を通して各国の文化観や映像文化観の基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにアニメーション文化の多様な価値観を理解し、映像作品に対して自分の見解を持つことができている。

A: アニメーション作品を通して各国の文化観や映像文化観の基本的な知識と考え方を修得し、さらにアニメーション文化の多様な価値観を理解し、説明できている。

B: アニメーション作品を通して各国の文化観や映像文化観の基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにアニメーション文化の多様な価値観について説明できている。

C: アニメーション作品を通して各国の文化観や映像文化観の基本的な知識と考え方を最低限の修得をしており、さらにアニメーション文化の多様な価値観について説明できている。

D: アニメーション作品を通して各国の文化観や映像文化観の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにアニメーション文化の多様な価値観について説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

8回目後半の期末試験は行わない。

第1回～第7回の各授業での小レポート：70点（各10点×7回）

8回目授業後にまとめる個人レポート：30点

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	世界と日本のアニメーションベスト150
著者名	
出版社	ふゆーじょんぶろだくと
出版年	2003
ISBN	
教材費	

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○

## PBL科目

## 地域志向科目

## 使用言語

日本語のみ

## 実務経験のある教員による授業科目

・中学校および高等学校における教諭経験のある教員が、その経験を活かして世界のアニメーション文化について分かりやすく講義する。

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7960	ナンバリング	KB-PAA-131-COE	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	ダンス・演劇文化				
担当教員（ローマ字表記）	田中 宏明, 門脇 早穂子				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

水戸芸術館で学ぶ、音楽、演劇、美術

## 授業の概要/Course Overview

水戸芸術館の運営全体について、活動内容やその特徴を解説する。さらに世界各国の芸術文化を簡単に紹介し、それらと連動した水戸芸術館の活動を鑑賞を通じて具体的に体験する。主に水戸芸術館の各部門の学芸員が講師として授業を行う。

## キーワード/Keyword(s)

水戸芸術館、音楽、演劇、美術、自主企画、専属楽団&劇団

## 到達目標/Learning Objectives

1990年に開館した水戸芸術館は、今や日本を代表する文化施設の一つとなっている。芸術館独自の活動内容を知り、併せて、現在の世界的な芸術文化の状況を理解する。そして、鑑賞を通じて各々が芸術文化全体についての見聞を広め、芸術に関して自分の意見が持てることを目指す。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：ガイダンスと導入：水戸芸術館に関する説明（田中・門脇）

第2回：水戸芸術館の運営と特徴

水戸芸術館副参事による講義。日本の文化施設で唯一、水戸芸術館だけが取り入れているシステムを学び、理解する。

第3回：学外授業（水戸芸術館見学と展覧会の解説・鑑賞）

水戸芸術館美術学芸員による講義。本授業のために、普段一般に公開されていない施設も特別に見学する。

第4回：水戸芸術館音楽部門の活動

（映像活用学習）

水戸芸術館音楽学芸員による講義。芸術館で開かれる音楽会がどのようにして企画されているか、どのように運営されているかなどを学ぶ。

また主に映像資料を見ながら現代音楽、芸術音楽などについての講義を受ける。

第5回：水戸芸術館演劇部門の活動

水戸芸術館演劇学芸員による講義。芸術館で上演される演劇作品について学び、演劇鑑賞についての視点を養う。

第6回：学外授業（演奏会）（田中・門脇）

第7回：学外授業（演劇）（田中・門脇）

第8回：音楽関連（主にピアノ）の講義。まとめ。（田中・門脇）

（ロールプレイ）

授業担当教員による講義。これまでの学外授業で鑑賞した内容について振り返る。演奏会と演劇において、演奏者と演者からの視点、鑑賞者からの視点がどのように共通し、異なるかを考察する。

第3・6・7回では、鑑賞のポイントを踏まえたうえで実際に美術館、音楽ホール、劇場に出向き、積極的な鑑賞活動をする。日程は「水戸芸術館ホームページ」に掲載されている開催公演の中から、10月初旬から12月初旬に開催される演奏会（複数の公演の中から選択）、演劇公演

(複数日程から選択)、美術展(芸術館見学日あるいは展覧期間中の他の日)を初回授業日までに案内する。

各分野の講師や演目(学外授業)の都合上、授業計画の順と異なる場合もあるが、その際はガイダンス時に知らせる。

#### 【授業外学修】

音楽、演劇、美術の各分野ごとの学外授業(水戸芸術館での鑑賞)に向けて、チラシから得た

情報を超えた知識や鑑賞のポイントをあらかじめ各自で押さえておく。鑑賞後は、その内容を自分の言葉で第三者に伝えられるようにまとめておく。

## 履修上の注意/Notes

教科書・参考書の購入は特になし。

水戸芸術館での見学を兼ねた、音楽、演劇、美術の各分野ごとの学外授業が、開講日時以外にある。日程は初回授業日までに案内する。出席は必須。

なお学外授業時に各部門の鑑賞チケット代金が必要となる。金額は、受講生は一般料金よりも割安な、ユース(25歳以下)チケットが適用となるため、代金の総額は4500円から5500円程度となる。

## 情報端末の活用

特になし。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

音楽、演劇、美術の各部門ごとに、レポート課題(A4用紙で各1枚程度)を出題。これらの各レポートの結果(100%)により成績をつける。作品の制作者、演者が何を伝えようとしているかを感じ取り、受け取ったことをどのように文章で表現しているかを見る。ただし3分の2以上の出席がないと評価の対象とならない。出欠は毎回、カードでとる。

期末試験は実施しない。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：特になし。その都度プリントを配布する。
----	-------------------------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎

実践的英語力	
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	◎

## アクティブ・ラーニング型科目

○
---

## PBL科目

--

## 地域志向科目

○
---

## 使用言語

日本語のみ
-------

## 実務経験のある教員による授業科目

・水戸芸術館副参事、学芸員など、芸術館運営に携わっている者が、オムニバス形式により、具体的な芸術館の運営や芸術文化について講義する。
--

## 実践的教育から構成される授業科目

・芸術館運営者による講義や芸術館の見学を通じた実習により、芸術館運営及び芸術文化理解に関する実践的教育を行う。
---

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--



時間割コード	KB7961	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	音楽文化				
担当教員（ローマ字表記）	神部 智				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

クラシック音楽の魅力カーバッハからドビュッシーへの旅路ー

## 授業の概要/Course Overview

クラシック音楽の魅力とは何か。この授業では、クラシック音楽を彩る天才たちの作品をCDやDVDで鑑賞し、その表現世界の秘密を紐解く。実際に各作曲家の音楽を耳にしながら、その作品の「美しさ」や「歴史的意義」、「社会的役割」等についても考える。クラシック音楽への入門として、自らの価値観で芸術や文化を考える機会としたい。主に取り上げる作曲家はキーワードに記したが、各回に一人程度のペースで進めることとする。

## キーワード/Keyword(s)

クラシック音楽、音楽鑑賞、バッハ、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、ショパン、リスト、ブラームス、ドビュッシー

## 到達目標/Learning Objectives

- (1) クラシック音楽の表現世界を理解することができる。
- (2) 各作曲家の作品を鑑賞し、自らの視点でその世界観をとらえることができる。
- (3) クラシック音楽の鑑賞を通して、各国、各時代の文化や歴史的背景を理解することができる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンス 偉大なるバッハとバロック音楽  
鑑賞曲：ヴィヴァルディの協奏曲、バッハのクラヴィア作品、古典組曲ほか。
- 第2回：巨人ベートーヴェンとウィーン古典派  
鑑賞曲：モーツァルト、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ、交響曲ほか。
- 第3回：歌曲王シューベルトとロマン派の夜明け  
鑑賞曲：シューベルトの歌曲、ピアノ・ソナタ、室内楽ほか。
- 第4回：シューマンにおける詩的ファンタジーの結晶  
鑑賞曲：シューマンの歌曲、ピアノ曲、ピアノ協奏曲ほか。
- 第5回：ピアノの詩人ショパンの独創性  
鑑賞曲：ショパンの練習曲、前奏曲、ポロネーズ、マズルカ、バラード、スケルツォほか。
- 第6回：革命家リストにおける新しい音楽表現  
鑑賞曲：リストのピアノ曲、交響詩ほか。
- 第7回：伝統主義者ブラームスの切り開いた道  
鑑賞曲：ブラームスの室内楽、交響曲、ピアノ協奏曲ほか。
- 第8回：ドビュッシーの音楽とその革新性 まとめ  
鑑賞曲：ドビュッシーのピアノ曲、管弦楽曲ほか。

【授業外学修】

- (1) 取り上げる各作曲家の作品について、事前に耳にしておくことが望ましい。
- (2) 音楽作品は演奏によって表現が大きく変わるので、作品を鑑賞する際は、複数の音源にあたることを勧める。

#### 【アクティブ・ラーニング】

作品や演奏から発せられるメッセージを感知する力だけでなく、音楽から感じ取ったものを自らの言葉で表現できることを目指し、毎回の授業で可能な限りソクラテス式問答を取り入れる。

## 履修上の注意/Notes

2回の遅刻を1回の欠席とみなす。オフィスアワー：木曜日2講時

## 情報端末の活用

授業の第8回目でアンケートを実施する予定のため、PC、スマートフォン等を持参すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。
- A：到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。
- B：到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。
- C：到達目標の3点について最低限のレベル以上において達成されている。
- D：到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験による（100%）。到達目標に記した観点を踏まえ、期末試験の記述内容から評価を行う。

## 教科書/Textbook(s)

備考	特になし
----	------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○

**PBL科目**

--

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語
-----

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB7962	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	音楽文化				
担当教員（ローマ字表記）	藤田 文子				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

独唱の喜び

## 授業の概要/Course Overview

個別指導とグループ指導を含む。アクティブ・ラーニングに即して言えば、個人的な表現と、ディスカッションなどを含んだ集団による表現活動への援助を目的に展開する授業である。個人に即して言えば、正しい発声とは何かを理解し、歌唱の基礎的なトレーニングを積み重ねることとする。また、ピアノ伴奏などとの関係性を正確に把握することとする。

## キーワード/Keyword(s)

正しい発声,癖のない声,自由な呼吸,様式感,リラックス

## 到達目標/Learning Objectives

自分の声について理解する（話し声,歌声）。自分の興味関心や,他者理解の上に立った自分なりの表現をすることができる。  
ディプロマポリシー：①世界の俯瞰的理解②専門分野の学力、③問題解決能力・コミュニケーション力、④社会人としての姿勢

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：シラバスを用いたガイダンスと導入

講義：この授業の進め方 独唱とは何か

第2回：発声の基礎と楽譜の正しい読み方などを指導する。

演習：各個人の学習段階に応じて課題を設定し、集団での学習を踏まえて個人レッスンをする。

第3回：発声の基礎と楽譜の正しい読み方などを指導する。

演習：各個人の学習段階に応じて課題を設定し、集団での学習を踏まえて個人レッスンをする。

第4回：発声の基礎と楽譜の正しい読み方などを指導する。

演習：各個人の学習段階に応じて課題を設定し、集団での学習を踏まえて個人レッスンをする。

第5回：様々な音形をより正しくより良い声で歌えるようにする。

演習：第1回から第4回までに学んだことを基礎に,集団での学習を踏まえて個人レッスンをする。

第6回：様々な音形をより正しくより良い声で歌えるようにする。

演習：第1回から第4回までに学んだことを基礎に,集団での学習を踏まえて個人レッスンをする。

第7回：様々な音形をより正しくより良い声で歌えるようにする。

演習：第1回から第4回までに学んだことを基礎に,集団での学習を踏まえて個人レッスンをする。

第8回：発表（試験）

演習：第1回から第7回までに学んだことを基礎に、発表（試験）する。前半は伴奏合わせ,後半は試験。

【アクティブ・ラーニング】

第2回から第7回まではアクティブ・ラーニングの技法であるソクラテス式問答,ピア・インストラクション,アナリストティック・チームなどの技法を用いる。

#### 【授業外学修】

- (1)学生個人の興味・関心も考慮しながら、発声・曲の選択、個人レッスンをを行うので、十分な予習・復習が望まれる。
- (2)選曲に関しては、教員の持参する教材も参考にすが、学生自身が持参することも考慮に入れることとする。
- (3)独唱を学修するので、健康管理に十分配慮することとする。

## 履修上の注意/Notes

独唱について興味・関心があることを前提に授業を展開していきます。体調をよくしておくこと。  
オフィスアワー：金2限(予約すること)

## 情報端末の活用

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 独唱の基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその表現ができている。  
A : 独唱の基本的な知識と考え方を修得し、さらにその表現ができている。  
B : 独唱の基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその表現ができている。  
C : 独唱の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその表現ができている。  
D : 独唱の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその表現ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

第8回目のまとめで試験を兼ねた演奏会を行う(50%)、授業態度など(50%)。作品に関して理解したことを声楽技術をもって表現しようとしているかを見る。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書は用いず、その都度必要なものを配布する。
----	-------------------------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	◎
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○

## PBL科目

--

## 地域志向科目

--

## 使用言語

日本語のみ
-------

## 実務経験のある教員による授業科目

・高等学校現場における常勤講師経験のある教員が、その経験を活かして、今日的な課題（現場での実技指導、音楽科教育の実態等）への対応を指導する。
--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	受講条件等

時間割コード	KB7963	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	佐々木 忠之				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

画像加工入門

## 授業の概要/Course Overview

パソコン（Macintosh）の画像加工ソフトPhotoshopを使って画像加工とコンピュータ・グラフィックス表現の基礎を学ぶ。

## キーワード/Keyword(s)

パソコン、Macintosh、Photoshop、画像加工、コンピュータ・グラフィック、CG

## 到達目標/Learning Objectives

Webページやポスター、チラシなどに使用する画像を取込み、目的に応じて加工できる。  
デジタル画像データについての基礎知識を得る。CGによる表現が出来る。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 ガイダンス、B301教室のコンピュータの使い方、Mac入門
- 第2回 Photoshopの初歩  
簡単な画像加工を通してPhotoshopの機能を理解する
- 第3回 画像加工1  
プレゼンテーション用の画像加工を行う
- 第4回 画像データの仕組み、画像加工演習2  
光の三原色とインクの三原色、画像解像度と色表現等
- 第5回 画像加工3  
画像加工による特殊効果を行う
- 第6・7回 画像加工演習  
与えられたテーマで画像加工によりCG表現を用いた作品制作を行う
- 第8回 作品発表  
自分の制作した作品についてプレゼンテーションを行う

（アクティブラーニング手法）全回ともパソコンを使用した演習として行う。

（授業外学修）

画像加工ソフトの機能等について参考出来るwebサイト等を紹介するので、できるだけ目を通しておくこと。

課題等はPDFファイルで配布するので、欠席した場合は空き時間等に閲覧し、その時間の内容を予習（復習）して次の授業に参加すること。

ただし、資料のファイルへのアクセス、課題の提出等は教室内のパソコンでのみ可能です。

## 履修上の注意/Notes

この授業は教育学部B棟3階B301教室（土足厳禁）で行います。受講者数はパソコンの台数により25名に制限します。IT基盤センター管理のパソコンではないため、授業最初のガイダンス時にID等を割り当てます。このパソコンは受講期間中のみ使用可能になります。遅刻は欠席として扱います。USBメモリを用意しておくこと。オフィスアワーは火曜日3講時。

## 情報端末の活用

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。
- A : 到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。
- B : 到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。
- C : 到達目標の3点について最低限のレベル以上において達成されている。
- D : 到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない。

## 成績の評価方法/Grading

課題（70%）と取り組み状況（30%）により、デジタル画像データについての基礎知識を身に付け、目的に応じた表現が出来ているかを見る。ただし、出席が規定に満たない場合は、単位を与えない。

## 教科書/Textbook(s)

備考	必要な資料等は主としてPDFファイルで随時配布する。 また、参考にできるWebサイトを授業の中で随時紹介する。
----	--

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○
---



**PBL科目**

--

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語のみ
-------

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB7964	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	金4	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	美術文化				
担当教員（ローマ字表記）	片口 直樹				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

美術文化 絵画入門

## 授業の概要/Course Overview

絵画の基礎的知識や表現方法を学ぶとともに、その多様性について歴史的背景と共に理解する。また、体験的な制作に取り組み、絵画に関する興味を拓く。第2・3回は講義を通してその歴史や多様性に触れ、第4回～第7回は制作を通して素材と表現について考察する。実技では合評会を実施し、考察の共有と個人の理解の深化を図る。最後に、美術館における絵画作品鑑賞により、絵画の知見について総括的にレポートにまとめる。

## キーワード/Keyword(s)

絵画、絵画史、表現方法、作品鑑賞、クロッキー、美術館

## 到達目標/Learning Objectives

- ・ 絵画鑑賞を通して作品に対する自身の見解をもつことができ、同時に他者の意見を受け入れることができる。
- ・ 絵画実技を通して体験的に表現方法に触れることで、様々な絵画技法についての興味を拓くことができる。
- ・ 絵画の歴史的背景や多様性について考察することで、絵画の現代的課題についての初歩的理解が得られる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンスとワークショップ  
（ワークショップ）絵画に関する受講者の知見を共有する。
- 第2回：絵画の歴史と多様性 講義  
（映像活用学習）提示された視点からメモを取りながら映像を見る。
- 第3回：絵画表現と素材について〔コンテパステルの特性を体験的に学ぶ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第4回：人物クロッキー〔10分×5ポーズ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第5回：人物クロッキー〔8分×6ポーズ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第6回：絵の具遊び〔モダンテクニックにより色彩を学ぶ〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第7回：作品制作〔コラージュにより絵画作品を完成させる〕 実技  
（クリエイティブ・セッション）合評会を通して共有を図りつつ自身の意見を持つ。
- 第8回：美術展鑑賞 鑑賞  
（授業後レポート）水戸市内の美術館等で絵画作品を鑑賞し、レポートを作成する。

【授業外学修】

(1) 「絵画」についての様々な素材・歴史・作品等を記載した文献等を読んでおく和良好的。その際には、自身に馴染みのある絵画を出発点として、少しずつ興味の対象を広げていくと良い。

(2) 実際に美術館等で絵画作品を鑑賞し、興味・関心を拓いておく事が望まれる。

(3) 実技では授業時間外での取り組みも重視されるため、自身や他の受講生の制作活動を振り返りながら自主制作を行うとよい。

## 履修上の注意/Notes

実技の際には、汚れても良い服装（作業着等）で参加すること。画材費、美術展鑑賞費、交通費は自己負担とする（2,000円程度）。遅刻は開始30分まで認めるが、遅刻3回で1回の欠席分とする。オフィスアワー（月曜1講時／教育学部C棟109室）。実習室の都合上、定員は20名程度まで。

## 情報端末の活用

・授業内で使用する場合はその都度指示するが、授業外においては授業内で紹介した絵画作品等について、あらためて調べておく和良好的。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

8回目の期末試験は実施せず、課題作品及びレポートの提出によってその完成度・理解度を評価の対象（8割）とする。また、課題に取り組むプロセスを重視し、制作態度も評価の対象（2割）として加味する。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書；特になし
----	----------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	絵画の教科書
著者名	谷川渥 監修
出版社	日本文教出版
出版年	2001
ISBN	4783010064
教材費	3500

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○

コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

### アクティブ・ラーニング型科目

### PBL科目

### 地域志向科目

### 使用言語

### 実務経験のある教員による授業科目

### 実践的教育から構成される授業科目

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	受講条件等

時間割コード	KB7965	ナンバリング	KB-PAA-131	科目分野	演習
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	音楽文化				
担当教員（ローマ字表記）	山口 哲人				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

音楽文化メッタ切り！音楽バカ談義

## 授業の概要/Course Overview

この授業は、映画・文学・漫画等、現在の芸術文化全体を見渡していかにか音が重要であるか受講生とともに激しくスルドク考えてみようではないか！？という内容です。クラシック・ゲンダイ音楽以外はさして詳しくないヤマグチが皆さんと一緒にジャズ・ロック・ポップス・レゲエからJ-pop、アニソンまで様々な音楽芸術を鑑賞し、褒めたり貶したりたりして楽しく議論しよう！

## キーワード/Keyword(s)

音楽 映画 文学 漫画 芸術 クラシック 現代音楽 ジャズ ロック ポップス レゲエ J-pop アニソン

## 到達目標/Learning Objectives

芸術文化の中から音楽的なモノを見つけ出すことができる！

ディプロマポリシー：①世界の俯瞰的理解③課題解決能力・コミュニケーション力④社会人としての姿勢

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第一回：「シラバスどおりにはたぶん絶対進行しないぞ！！」シラバスを用いたガイダンスと意見交換&題材収集

この授業は、受講生諸君から興味のある芸術文化メディアを訊き、鑑賞教材を決めそこから音楽的要素を抽出して批評してゆこう！という実験的なモノになる予定であるので、お集まり頂いた方の趣味傾向により毎回取り上げるお題はガラッと変わってくると思われる（以下にあげたお題はあくまでヤマグチが考えた仮のもの）。

第二回：「雑派大魔神イバダイに降臨！迎え撃つゲンダイオンガクの巨人ジョン&ピエール」

フランク・ザッパVsジョン・ケージ&ピエール・ブーレーズ」ロック、ポピュラー音楽、現代音楽、ミュージック・コンクレート、ジャズ、電子音楽、R&B、ドゥーワップ、ブルース、サイケ、ハード、プログレッシヴ、ブルース、フリー・ジャズ、パンク、ニュー・ウェイヴ、レゲエ、オペラ、ディスコ変幻自在のザッパとゲンダイオンガクの二人の巨匠の聴き比べ！

第三回：熟読！！漫画から音楽は感じられるか！？・・・授業中に漫画を読めるなんて・・・まるで漫画喫茶だ！！

さそうあきら①「ミュジコフィリア1～5」②「マエストロ1～3」③「おくりびと」山本おさむ④「hey!!ブルースマン1～3」⑤「天上の弦1～10」山下和美⑥「コンチェルト」⑦「ノクターン」新川直司⑧「四月は君の嘘1～11」小玉ユキ⑨「坂道のアポロン1～9」⑩一色まこと「ピアノの森1～26」⑪戸田誠二「音楽と漫画と人」⑫手塚治虫「手塚治虫マンガ音楽館」⑬「ルードウィヒ・B1・2」⑭二ノ宮知子「のだめカンタービレ1～25」⑮いくえみ綾「G線上のあなたと私1～4」⑯勝田文「あのごにもらった音楽」⑰河原和音「青空エール1～19」⑱鎌谷悠希「少年ノート1～8」⑲石塚真一「BLUE GIANT 1～10・BLUE GIANT SUPREME 1～9」⑳福山庸治「マドモアゼルモーツァルト」21みうらじゅん「アイデン&ティティ24歳/27歳」22羅川真里茂「ましろのおと1～24」23アミュー「この音とまれ！1～21」24八口ルード作石「BECK1～34」25浅野いにお「ソラニン1&2」26榎屋克優「日々ロック1～6」ほか

第四回：爆裂音楽！・最大音量でシビレルぜ！ミミセンのご用意を！他の教室からクレームが来ても知らない・・・

「木山光」「O・メシアン」「M-A・タネジ」「チャイコフスキー"序曲1812年"」「ニールセン『より近く、神のみもとに』によるパラフレーズ」「レイフス"ヘクラ火山"」

“世界一うるさいバンドギネス記録”「マノウォー」ほか。

第五回：今回はシンミリやりますよ・・・文学から音楽は感じられないか上品に考える・・・

a)O・S・カード「無伴奏ソナタ」b)P・A・マキリップ「バジリスクの魔法の歌」c)なかにし礼「長崎ぶらぶら節」d)中田 永一「くちびるに歌を」e)中沢けい「楽隊のうさぎ」f)津原泰水「ブラバン」g)藤谷治「船に乗れ！1～3」h)「世界でいちばん美しい」i)荒木源「オケ老人!」j)風野潮「モデラートでいこう」k)風野潮「ビート・キッズ—Beat Kids」l)天野純希，大島真寿美，風野潮，川島誠，小路幸也，丁田政二郎「ぼくの歌が君に届きますように」m)今野敏「怪物が街にやってくる」n)西村すぐり「ぼくがバイオリンを弾く理由」o)恩田陸「遠雷と蜂蜜」他

第六回：キミはガンダムオタクか？！

機動戦士ガンダムシリーズのBGMを一気に鑑賞、ヘトヘトへになりながら西暦1979年から宇宙世紀までの音楽の変遷をみんなで激しく考察！！

第七回：ビッグバンドの魅力！

アニメ「ルパン三世」や「カウボーイ・ビバップ」のライブ映像、映画「スウィング・ガールズ」「セッション」を観ながら熱く討論！

第八回：対決X（エックス）ジャンプ対x（ダム）ジャンプ！！ボヨヨンロック&ニューウェイブテクノだよーん！

エックスジャンプのエックスジャンプと、筋肉少女帯のダメジャンプを徹底比較研究！その後「筋肉少女帯」「大槻ケンヂ」「三柴理」「電気グルーヴ」を聴く！ついでにアニメ「さよなら絶望先生」「戦闘妖精雪風」「うしおととら」等を観ながら「踊るダメ人間」と「モノノケダンス」を踊り最終回を飾る！

アクティブ・ラーニング要素

- ・ソクラテス式問答
- ・ディベート
- ・ブレインストーミング
- ・EQトーク
- ・発言カード
- ・ミニッツペーパー
- ・質問書法
- ・クリエイティブ・セッション
- ・映像活用学習

【授業外学修】

一日24時間（生きている間はずっと音楽が聴け、学べます。完全無音の空間があったとしても、心臓の鼓動が音楽となり得ます）。

ただし、こちらから次回授業までに何かを聴け、等という指令は一切出しません。

高等学校までに何か学修していないとこの授業を受けられぬ、というアホらしい制限も無し。

## 履修上の注意/Notes

毎回の授業では音楽を聴いた後、感想・意見を言ってもらったり、踊ってもらったり、自分が音楽だなぁと感じることを発表してもらったりする予定です。結構アクティブにやりますよ！授業中寝るなヨ！！そんなに高度な音楽知識を要求することはありません。遅刻は、まあ許しますが、あんまり遅すぎると欠席とします。相談質問はオフィスアワーまたは授業の前後に。

## 情報端末の活用

レポート提出や学生発表はパソコン作成のデータ提出でも構いませんが、学生発表時は教室設置の機器の具合により（ボロい機械だから）、接続が上手くゆかない場合もあります。授業の発表前に受講教室で機械の具合を確認して下さい。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : オンガクの基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
A : musicの基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
B : Musikの基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
C : музыкаの基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。  
D : ■■■■■の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

○補足

- ・到達目標と関連づけて、成績評価に当たっての客観性・厳格性を確保し、評価に関する観点を明記し、「総合的に評価」のような曖昧な表現は避ける。
- ・履修学生は、自身の成績評価に疑義のある場合は異議申し立てができるので、評価レベルに応じた理解度や習得度を、あらかじめ具体的に説明し、客観性を担保していることが望ましい。

## 成績の評価方法/Grading

試験はしない。毎回終了時のアンケート&小レポート(50%)と、時々行われる音楽発表(50%)等で成績をつけます。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	△
専門分野の学力	△
課題解決能力	△
コミュニケーション力	△
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

## アクティブ・ラーニング型科目

音楽を聴く・演奏することはいつだってアクティブだと思います。

## PBL科目

## 地域志向科目

## 使用言語

日本語のみ。担当教員がたまにカッコをつけて音楽用語を外国語で言ったりする程度（外国の映画をよく鑑賞したりはする＝字幕はある）

## 実務経験のある教員による授業科目

--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--